

日本システムウエア(株)の西日本初となるデータセンター開設 に伴う当社Powericoでの受注について

四国電力グループの株式会社STNet(社長:中村 進、本社:香川県高松市、資本金:100億円)は、当社事業の中核である西日本最大級のデータセンター「Powerico(パワリコ)」内に大手ITソリューションプロバイダである日本システムウエア株式会社(以下「NSW」)の「高松ITセンター」を設置することについて合意いたしました。

NSW高松ITセンターは、NSWとして既設の首都圏・都市型データセンターの「渋谷ITコア」および郊外型データセンターの「山梨ITセンター」に続く、西日本初となる3拠点目のデータセンターであり、3月1日より稼働を開始致します。

なお、NSWは、今後、高松ITセンターを同社の展開するIoTクラウドプラットフォームサービス「Toami(トアミ)」をはじめとする各種クラウドサービスを支えるインフラ基盤の中核センターとする予定であります。

NSWが西日本にデータセンターを設置するにあたりPowericoを選択いただいた背景には、最新のファシリティと高いセキュリティ対策を備えている施設に対する評価と、立地する香川県が歴史的にみて地震や津波などの自然災害影響が小さく、万が一首都圏で大規模地震が発生した場合でもプレートが異なり連動地震が起きにくいエリアにあること、さらには商用電源周波数も異なっており、情報システムの災害対策拠点に適していることが評価され、決定されました。

当社は、今後もIT業界をけん引する大手ITベンダー等へPowerico利用に向けた営業活動に注力し、四国地域のIT産業の活性化にいささかなりとも貢献できるよう取り組んでまいります。

以上

■NSW(日本システムウェア株式会社)について

1966年に創業。本社:東京都渋谷区。

各業種対応のシステム開発、大規模システム運営、データセンターでのアウトソーシングなどをワンストップで提供。ITリソースのみの提供にとどまらず、監視・運用などのデータセンターソリューションや移行設計などのインテグレーションを含めた幅広いサポートを提供するクラウドコンピューティングサービスを展開。オートモーティブや通信分野などの組込みシステム開発を行うほか、LSIやボードの設計開発を手掛ける。

■Powerico外観

Powerico 外観

